

墨の美

平成30年

7 / 7 土
9 / 24 月

絵と書が魅せる
クール・ジャパン！



【開館時間】 平日 AM10:00～PM6:30
土・日・祝 AM10:00～PM5:00
【休館日】 月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日
【入場料】 無料

[左]猪瀬東寧「浅絳山水図」、[右]小川芋銭「ひかるる烏天狗」(部分)

墨の美

絵と書が魅せる
クール・ジャパン！



初見一雄「張家界道中」



中川祐聖「風雲風雨」

坂東郷土館ミュージズではこの夏、「墨」に注目した展覧会を開催します。

墨は、書道、日本画に用いられる顔料として古来より日本人になじみ深い画材です。墨を用いて制作した墨画、さらに淡彩や画賛を加えた文人画や南画は古くから人々に珍重されてきました。また、書作品は文字に込められた感性や思想を感じ取り、紙背に広がる作者の教養や人間性をも鑑賞してきました。書画作品は黒を基本色としつつも、墨が生み出す濃淡やにじみ、画面上の明暗やぼかしを巧みに活かし、無彩の世界に豊かな色彩が表現されているのです。

今回の企画展では、猪瀬東寧、奥原晴湖、小川芋銭をはじめ、郷土ゆかりの作家たちが墨を用いて描いた墨画・文人画・南画や書作品を展示します。作者たちが墨を通して作品に向けたまなざしや思いを感じていただくと共に、この暑い夏の季節に、静謐でクールな日本伝統の書画の魅力をお楽しみください。



平勢鶴堂「映雪讀書」



平勢冬邨「赤洒々」



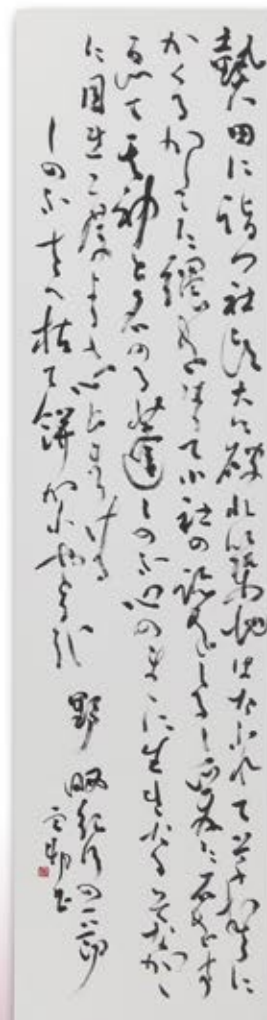
中川祐俊「口吟無声詩」



肅榮實「鯉」



麻生六華「咄不尽」

初見太清
「月下獨酌（李白）」平勢雨邨
「熱田（松尾芭蕉
野ざらし紀行より）」